

きりの里

(「基里」の「里」を音読みにして、「きり」としています。)



本校は、鳥栖市立基里小学校と
施設分離型小中一貫教育を
推進しています。

鳥栖市立基里中学校
学校だより No.20
令和7年3月24日
校長 中山 孝史

～第78回卒業式～

3/7(金)9時30分から新しくなった体育館において、令和6年度鳥栖市立基里中学校卒業式を行いました。卒業証書を手渡した後、式辞では卒業生に対して、体操のクラブ活動指導中に頭から転落して脊髄を損傷し、手足の自由を失いながらも、口にくわえた筆で花の詩画集を出し続けた元中学校体育教師、星野富弘さんの3つの語録を贈りました。①「辛いという字がある。もう少しで幸せになれるような字である。」②「今を精一杯生きられないで、どうして次の人生をしっかりと生きられるでしょう。」③「はじめは苦しくてつらいことが、自分を成長させてくれます。とにかく前に一步を踏み出してみる。そうすれば、花咲く時は必ずやってきます。」そして、夢や目標の実現に向かってあきらめることなく一步一步着実に、一日一日を大切に努力することの大事さを述べました。その後、鳥栖市教育委員会教育委員大石友和様に記念品を授与していただき、PTA会長天本典宝様に祝辞を述べていただきました。送辞は生徒会長松尾柚乃さんが述べ、答辞は前生徒会長山本陵央くんが述べました。どちらも感動的な内容でした。保護者代表の謝辞は、内金登希子様に述べていただきました。式後、学年合唱「手紙～拝啓 十五の君へ～」を卒業生が披露しました。心を揺さぶる素晴らしい歌声でした。そして、最後の学級取り扱いを行った後、職員に見送られながら、卒業生が基里中学校を巣立っていきました。

～3年修了式～

3/6(木)3年生の修了式を行いました。基里校区で学んだことに誇りをもち、自分が打ち込めることを見つけて卒業後も一層の奮励努力を重ね、立派な大人になってほしいことを話しました。

～生徒会への表彰～

3年修了式で日本赤十字社佐賀県支部と東部教育事務所の表彰状を前生徒会役員に贈りました。能登半島地震被災地の方々や発展途上国への安全な水支援のための募金活動の功績が認められました。

～基里賞～

修了式で3学期に様々な場面において善い行いをした生徒に基里賞を贈りました。「反省点を改善した。クラスに貢献した。学級目標を体現した。勇気ある行いをした。周りのために行動した。全校生徒の道しるべとなった」ことなどが受賞理由です。

1-1:	1-2:
2-1:	2-2:
3-1:	3-2:

～1、2年修了式・辞任式～

3/24(月)1、2年生の修了式と辞任式を行いました。修了式では、春休みに1年の振り返りを行い、新年度の抱負を立ててほしいことを話しました。辞任式では転出される先生方を紹介し、転出先での活躍を祈念しました。

※ 転出される先生方

氏 名	転出先

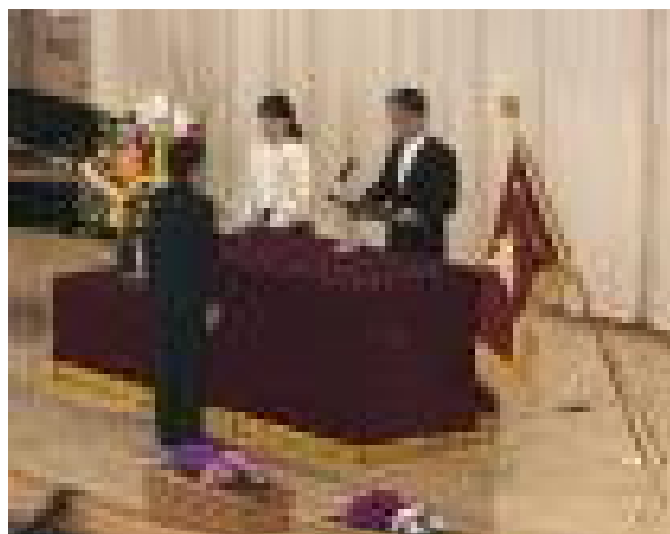
～お礼～

このたびの人事異動で、鳥栖西中学校に特任指導教諭として赴任することになりました。基里地区は産業のバランスがよく、教育に対する地域の方々の思いが大変熱いところだと思います。生徒はとても素直に育っており、今後ますますの成長を期待しています。校長として2年間、お世話になりました。ありがとうございました。

～第78回卒業式の様子①～



式辞



卒業証書授与（3－1 天本拓真）



卒業証書授与（3－2 池田 稟）



来賓の祝辞（PTA会長 天本様）



卒業記念品の授与（教育委員 大石様）

～第78回卒業式の様子②～



送辞（2－1 松尾柚乃）



答辞（3－2 山本陵央）



祝詞



学年合唱（「手紙～拝啓 十五の君へ～」）

基里中学校 コミュニティ・スクールだより (No.4)

～「学校で学び・家庭でしつけ・地域で育てる」～

3/19(水) 10時00分から基里中学校第3回学校運営協議会を行いました。今回は、令和6年度学校評価の学校関係者評価をしていただきました。学校運営協議会委員の皆様、1年間どうもありがとうございました。

評価項目	取組内容	具体的取組	評価
◎学力の向上	○知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等を育成し、生徒が主体的に学ぶようになるための実践	・各学年1回の授業研究会を行う。 ・生徒の実態調査（事前調査・事後調査）を行う。 ・学習指導案モデルの作成と検討を行う。	A
◎心の教育	○児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・学年や学級の実情に合わせて、道徳教材の研究を継続的にを行い、情報交換をする。 ・担当を中心に各研修会の案内と参加の呼びかけを行い、参加・実施に努める。	A
	○いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	・「いじめ・いのちを考える日」に「生活アンケート」を行い、生徒の実態を把握し、いじめの早期発見・早期解決につなげる。	A
	○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	・定期的に学級・学年通信を発行する。 ・高校調べや職業体験等を生徒の発達段階に応じて行う。	B
	○教育相談の充実	・1、2学期に教育相談を実施する。 ・スクールカウンセラーからの情報を生徒指導協議会で共有する。	A
◎健康・体づくり	○望ましい生活習慣の形成	・定期的に、アンケートを実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」の実態把握し、啓発・指導を行う。	A
	○安全に関する資質・能力の育成	・1学期に交通教室と自転車点検を行い、生徒の意識を高める。 ・防災に関する講演会に生徒だけでなく保護者の方も招待して行う。	B
◎業務改善・教職員の働き方改革の推進	○業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	・OJTの日常化と連携による校務の役割分担を行い、時間外勤務を削減する。 ・定時退勤日を実態に即した日に設ける。	A
	○部活動の活動時間の適正化	・部活動の計画的な運営と休養日を実施する。	A
◎特別支援教育の充実	○インクルーシブ教育の推進	・板書や掲示物等を各クラスの生徒の特性に合わせて工夫をする。	A
◎小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実	・授業参観日に、地域の文化や人材等を生かした体験学習を積極的に行う。 ・小中学校での乗り入れ授業や交流活動を積極的に行う。	A
◎開かれた学校づくり	○地域と連携した学校づくりの推進	・各種たよりや通信、HP、メール等を活用し、行事等の情報の発信を行う。 ・コミュニティ・スクールの運営を通し各種団体、地域等に協力を依頼し、教育活動の活性化を図る。	A

※ A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である